

4

外国人の方

● 日ごろの準備

- 小平市の ホームページで、 災害の お知らせを 調べます。
- 小平市国際交流協会では、 外国人のための 語学ボランティアの 登録や 防災訓練（逃げる 練習を すること）などを 行っています。 連絡先は、 48ページに 書いてあります。
- パスポートや 在留カードなどは、 わかるところに 置きます。 災害のとき、 かならず 持ちます。
- 地震や 台風のときは、 電気や ガスや 水道を 使うことが できません。
- 災害が おきると 食べものや 水などを 買うことが できません。
自分で 準備が 必要です。 食べもの、 飲みもの、 簡易トイレ（持ち運びが できる 小さいトイレのこと）、 懐中電灯（ライト）、 携帯電話や スマートフォンの 充電器などを 用意します。
- 次の ①から ⑤のものを いつも たくさん 買っておきます。
 - ①レトルト食品（温めて 食べるもの）
 - ②缶詰
 - ③水
 - ④赤ちゃんが いるときは、 オムツや ミルク
 - ⑤宗教や アレルギーなどで 食べては いけないものがあるときは、 自分が 食べることが できるもの
- 災害が おきたときに 必要な 日本語を 覚えます。
「助けて」「火事だ」「ケガを しています」
「避難所（みんなが 逃げる ところ）」 「班長（避難所の リーダー）」
「避難者（避難する人）」

● 災害が起きたら

- 家族や 友だちに 大丈夫か 聞きます。
- 大きい 地震が あったときや、 火事が おきたときは みんなで いっしょに 助け合って、 近くの小学校や 中学校など 安全な場所へ 逃げます。

けいかいれ べる に
●警戒レベル (いつ逃げるか)

けいかいれ べる 警戒レベル	じぶん 自分が すること
れ べる レベル5 きんきゅうあんぜんかくほ 〔緊急安全確保〕	いまさいがい ぼっせい いのち あぶ 今災害が 発生しています。 命が 危ないです。 いま だてもの あんぜん ばしょ ちか あんぜん だてもの いま 今いる 建物の 安全な 場所や 近くの 安全な 建物に 今すぐ に 逃げます。
れ べる レベル4 ひなんしじ 〔避難指示〕	あぶ ばしょ から すぐに に 危ない 場所から すぐに 逃げます。 ちか あんぜん ばしょ だてもの なか あんぜん へや に 近くの 安全な 場所や 建物の中の 安全な 部屋に 逃げます。
れ べる レベル3 こうれいしゃとうひなん 〔高齢者等避難〕	に 逃げるのに じかん が かかる人は に 逃げるのに 時間が かかる人は 逃げます。 おじいさんや おばあさんや 子どもなどは に おじいさんや おばあさんや 子どもなどは 逃げます。 その他の ひと に 準備をします。 人は 逃げる 準備をします。
れ べる レベル2 おおあめ こうすいちゅういほう 〔大雨・洪水注意報〕	に 逃げる 行動を かんが 逃げる 行動を 考えます。 はざードマップ (逃げる ところや あぶ 危ない ところなどを か 地図) で 逃げる道と 逃げる場所を 確認します。 ちず に 逃げる道と 逃げる場所を 確認します。
れ べる レベル1 そうきちゅういじょうほう 〔早期注意情報〕	さいがい じょうほう を かくにん 災害の 情報を 確認します。 に ユース や じぶん の 住んでいるまち じぶん の 国の たいしかん ニュースや 自分の 住んでいる町や 自分の 国の 大使館の ホームページを 見ます。

れ べる
レベル4 までに 必ず 逃げます。

ひなんじよ に
●避難所 (みんなが 逃げる ところ)

- 避難所は、 地震で 自分の 家が 壊れて 生活が できなくなった ときや、
おおあめ いえ なか みず はい きけん が あるときに 逃げる 場所です。
- 学校の 体育館や 公民館などが 避難所になることが多いです。
- 食べものや 水、 毛布などを もらうことができます。
- たくさんの人と いっしょに 生活します。
- 泊まることも できます。
- わからないことは、 避難所の 班長 (リーダーのこと) に 聞きます。
- 小平市国際交流協会では、 大きい 災害が おきたときに 外国人のための災害時
がいこくじんしえんせんたー が できます。 そこには、 外国語が わかる人が います。
ばしょ は、 48ページに 書いてあります。

外国人の方を支援するとき

逃げることを知らせるとき

- 外国人は、地震の体験や知識のない人もいます。
- ゆっくりとわかりやすい日本語なら通じることもあります。
短い文で伝えてください。
- まず声をかけてみてください。
言葉で伝えることができない場合は、体や手で伝えます。
道順などは、手で方向を示してください。

避難所（みんなが逃げるところ）では

- できるだけ外国語で教えるなどの支援をしてください。
案内表示も含め、お知らせにはできるだけ「やさしい日本語」を使ってください。
漢字にはふりがなをあわせて書いたり、イラストなどを使ったりしてください。
- 宗教や文化の違いに気を付けてください。
(ご飯、頭を下げ 拜む 習わしなど)

避難所で使えるやさしい日本語

- 聞き取りをする場合

名前を聞くとき ⇒ あなたの名前は？

出身地を聞くとき ⇒ あなたの国は？

水、食事などの確認をするとき ⇒ 水はありますか？
今日朝何を食べましたか？

睡眠の確認をするとき ⇒ 昨日はよく寝ましたか？

- 避難所のルールを説明する場合

洗面所、トイレ、食料支給、物資支給、医療室のこと

⇒ ここで顔を洗います。ここがトイレです。ここで食べ物をもらいます。
けがや病気するときここにいきます。

避難者は、外泊するとき 班長に 言ってください。

⇒ 外に 行くとき、 班長 (リーダーのこと) に 言います。

水の 運搬は 避難者が 交代で 行います。

⇒ みんなで 水を 運びます。 あなたは ○日 ○曜日 です。

避難所では 飲酒や 喫煙は 禁止です。

⇒ お酒を 飲むことは できません。 たばこを 吸うことは できません。

食料や 物資は 班ごとに 配布します。

⇒ あなたは ○班 (グループのこと) です。

○班の 班長から 食べものを もらいます。

消灯は 午後〇時、 放送は 午後〇時で 終了です。

⇒ 電気 (テレビや ラジオ) は ○時に 消えます。

※ 小平市国際交流協会 では、 外国人のための 語学ボランティアの 登録、 防災訓練などを 行っています。

※ 大きな 災害時には、 外国人のための 災害時外国人支援センターが 開設されます。

【問合せ先】

一般社団法人 小平市国際交流協会 (KIFA)

【Kodaira International Friendship Association】

住所 小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター3階

電話 042-342-4488

FAX 042-347-3003

メール info@kifa-tokyo.jp

ホームページ <https://www.kifa-tokyo.jp>